

今年の受賞者をお知らせします

舟橋聖一顕彰文学賞

舟橋聖一顕彰文学賞は、彦根市の名誉市民である作家・故舟橋聖一氏の功績をたたえ、ともに、広く青少年の文学奨励をはじめとした教育・文化の振興を図るために設けています。18〜30歳の青年を対象とした第19回「青年文学賞」には全国から58編の応募が、また、近畿各府県および滋賀県に隣接する各県の小・中・高校生を対象と

した第22回「文学奨励賞」には、94編の応募がそれぞれありました。選考の結果、今回の受賞作品が次のように決定され、授賞式が10月21日(日)、市内のホテルで行われました。問い合わせ先 市立図書館 ☎22-0649番、FAX26-0300番

文学奨励賞

小学生の部

第一席

『つばめとすこした夏』(作文)

寺村那歩さん 城東小学校3年

第二席

『ガラスの日』(作文)

麻野修平さん 稲枝北小学校4年

第三席

『琵琶湖再発見の学習をして』(作文)

八若あかりさん 若葉小学校6年

中学生の部

第一席

『姉という立場』(作文)

阪口緩香さん 河瀬中学校1年

第二席

『原爆から学んだ』

平和の大切さ』(作文)

山下由希さん 西中学校3年

第三席

『家族旅行』(紀行記録)

藤井一生さん 東中学校1年

高校生の部

第一席

該当者なし

第二席

該当者なし

第三席

『夕虹』(創作)

日根野 葵さん

(京都精華女子高等学校3年)

青年文学賞

最優秀賞

『実存主義のネコ』

〈小説〉

小井戸早葉さん

(東京都目黒区)

佳作

『真夜中のホウコウ』

〈小説〉

久保田大樹さん

(埼玉県新座市)



▲第1回舟橋聖一文学賞授賞式で挨拶する北方謙三さん

第1回の受賞者をお知らせします

舟橋聖一文学賞

作品名 『独り群せず』

著者 北方謙三

舟橋聖一文学賞は、国宝・彦根城築城400年祭の開催を機に、彦根市の発展を図るために創設した賞です。文学の振興を通じて、市民が豊かな心を育み、香り高い文化を築くため、名誉市民である舟橋聖一の文学の世界に通じる優れた文芸作品に対し舟橋聖一文学賞を贈ります。

「舟橋聖一文学賞」は、これまでの「文

学奨励賞」、「青年文学賞」のような公募式でなく、基準日を設け、その基準日より前の1年間に新しく単行本として刊行された優れた小説を対象としています。「舟橋聖一文学賞」が「文学奨励賞」、「青年文学賞」に応募する人の刺激となり、創作活動の目標、励みとなるように、また、広く地域文化の振興が図れるよう期待します。

皆さんの意見をお待ちしています

都市再生整備計画城南東地区の見直しについて

彦根市では、都市再生整備計画(城南東地区)に基づき、彦根城およびその周辺地域を対象に、計画期間を5年として、中心市街地の活性化に向けた、さまざまな事業を展開しています。今年、計画のほぼ中間年に当たることから、事業の円滑な執行管理を図るうえで、計画の見直しを行います。

つきましては、計画案を公表しますので、計画案に対する皆さんのご意見などをお寄せください。

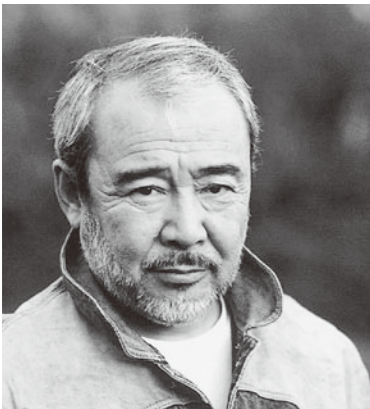
お寄せいただいたご意見などは、意見に対する市の考え方とともに整理したうえで、彦根市ホームページなどで公表します。なお、お寄せいただいたご意見に対して、個別に回答はしませんので、あらかじめご了承ください。

案の公表場所 〇都市計画課(市役所2階)、彦根市ホームページ

意見などの提出期間 〇11月30日(金)

意見などの提出方法 〇直接持ち込んでいただくか、郵送、ファクス、Eメールで提出してください。

提出先・問い合わせ先 〇都市計画課 ☎30-6124番、FAX24-08517番



北方謙三 プロフィール

昭和58年『眠りなき夜』(集英社)で第1回日本冒険小説協会大賞・第4回吉川英治文学新人賞を受賞する。平成元年に南北朝期九州を舞台にした『武王の門』(新潮社)を著し 歴史小説の分野へと挑み始める。平成18年『水滸伝』(集英社)で第9回司馬遼太郎賞を受賞するなど数多くの作品を出している。また、平成12年より直木賞選考委員を務める。

▲舟橋聖一顕彰文学賞授賞式で賞状を受け取る受賞者